

バイオマスプラスチック配合ごみ袋の試行モニターについて

1. モニター調査対象

(1) 対象者：600 人

各地区住民自治協議会（伊賀南部を除く）からの推薦

ごみ減量・リサイクル等推進委員

一般廃棄物収集運搬・処分業及び浄化槽清掃業の委託、許可、更新等に関する審査委員会委員

環境審議会委員

(2) ごみ袋仕様等（各 10 枚）

① 高密度ポリエチレン（HDPE）・配合率 25%

② 低密度ポリエチレン（LDPE）・配合率 25%

(3) 調査内容

使用感や強度、環境問題に対する考えの把握

2. モニター調査期間

期間：令和5年6月頃～3ヶ月程度

集計・分析：令和5年9月頃～2ヶ月程度

・アンケート方法

調査票

・アンケート回収方法

郵送

伊賀市 地域別世帯数・人口（住民自治協議会単位）バイオマス配合ごみ袋試行モニター用

住民自治協議会名	世帯数	人口	基本配布数	世帯比率	配布数（世帯）	配布数
上野東部地域住民自治協議会	5,981	12,202	5	16.49	63	68
上野西部地区住民自治協議会	1,469	2,994	5	4.05	16	21
上野南部地区住民自治協議会	1,797	3,376	5	4.96	19	24
小田町住民自治協議会	1,774	3,154	5	4.89	19	24
八幡町地区住民自治協議会	553	931	5	1.53	6	11
久米住民自治協議会	1,590	3,039	5	4.38	17	22
花之木地区住民自治協議会	405	903	5	1.12	4	9
長田地区住民自治協議会	478	1,044	5	1.32	5	10
新居地区住民自治協議会	1,394	3,134	5	3.84	15	20
三田地区住民自治協議会	899	1,803	5	2.48	10	15
諏訪住民自治会	204	451	5	0.56	2	7
府中地区住民自治協議会	1,949	4,128	5	5.37	21	26
中瀬地域住民自治協議会	1,564	3,050	5	4.31	17	22
友生地区住民自治協議会	893	2,095	5	2.46	9	14
猪田地区住民自治協議会	822	1,733	5	2.27	9	14
依那古地区住民自治協議会	775	1,751	5	2.14	8	13
比自岐地区住民自治協議会	180	428	5	0.50	2	7
神戸地区住民自治協議会	890	1,881	5	2.45	9	14
きじが台地区住民自治協議会	352	631	5	0.97	4	9
古山地区住民自治協議会	293	661	5	0.81	3	8
花垣地区住民自治協議会	635	1,338	5	1.75	7	12
ゆめが丘地区住民自治協議会	1,754	4,820	5	4.84	19	24
柘植地域まちづくり協議会	1,412	3,178	5	3.89	15	20
西柘植地域まちづくり協議会	1,256	2,612	5	3.46	13	18
壬生野地域まちづくり協議会	1,416	3,344	5	3.91	15	20
島ヶ原地域まちづくり協議会	808	1,969	5	2.23	8	13
河合地域住民自治協議会	1,380	3,211	5	3.81	15	20
鞆田自治協議会	503	1,273	5	1.39	5	10
玉滝地域まちづくり協議会	562	1,344	5	1.55	6	11
丸柱地域まちづくり協議会	248	595	5	0.68	3	8
山田地域住民自治協議会	1,441	3,469	5	3.97	15	20
布引地域住民自治協議会	176	402	5	0.49	2	7
阿波地域住民自治協議会	408	938	5	1.13	4	9
合計	36,261	77,882	165	100	385	550

バイオマスプラスチックを使用した可燃物ごみ袋の導入に向けて
～みなさまのご意見を聞かせてください～

アンケート調査の実施について

化石資源をはじめとする枯渇性資源の使用削減、温室効果ガスの排出抑制の観点から、化石資源由来プラスチックからバイオマス由来のプラスチックへの転換が求められており、伊賀市の指定ごみ袋についてもバイオマスプラスチックを使用したものへの移行をめざしています。

ついては、市民の皆さんにモニター用ごみ袋をお使いいただいた使用感や強度、環境問題に対する考えなどをお聞きし、今後の事務の参考にさせていただきます。

アンケートについて

このアンケートは、〇月〇〇日（ ）までに回答してください。

回答いただいた内容は、この調査の目的以外には使用いたしません。

お問い合わせ先

伊賀市人権生活環境部廃棄物対策課
〒518-1155

伊賀市治田3547番地の13

電話 0595-20-1050

FAX 0595-20-2575

メール haikibutsu@city.iga.lg.jp

1. 年齢（どれか一つに☑をつけてください）

☐ 20歳未満	☐ 20代	☐ 30代
☐ 40代	☐ 50代	☐ 60代以上

2. 家族人数（どれか一つに☑をつけてください）

☐ 1人	☐ 2人	☐ 3人
☐ 4人	☐ 5人	☐ 6人以上

3. 使用枚数（カッコ内に数字を記入してください）

(①) 高密度ポリエチレン・配合率25%	() 枚
(②) 低密度ポリエチレン・配合率25%	() 枚

ごみ袋の使用評価

4. (①) 高密度ポリエチレン・配合率25%（どれか一つに☑をつけてください）

(1) 手触り感

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(2) 扱いやすさ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(3) 破れにくさ、丈夫さ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(4) 水漏れ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

5. (2) 低密度ポリエチレン・配合率25% (どれか一つに☑をつけてください)

(1) 手触り感

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(2) 扱いやすさ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(3) 破れにくさ、丈夫さ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

(4) 水漏れ

☐ 良い	☐ まあ良い	☐ どちらとも言えない
☐ あまり良くない	☐ 良くない	

6. 材質による比較 (どれか一つに☑をつけてください)

高密度ポリエチレン(①)と低密度ポリエチレン(②)の袋を比較すると、総じて

☐ ①の方が非常に良い	☐ ①の方がいく分良い	☐ 違いがわからない
☐ ②の方がいく分良い	☐ ②の方が非常に良い	

7. バイオマス原料配合の有無による比較 (どれか一つに☑をつけてください)

6.で良いと答えた方のごみ袋 (違いがわからない場合は両者) と

既存のごみ袋 (配合なし) を比較すると、総じて

☐ バイオマス原料配合の方が非常に良い	☐ バイオマス原料配合の方がいく分良い
☐ 違いが分からない	
☐ 配合なしの方がいく分良い	☐ 配合なしの方が非常に良い

8. 使用に際して気づいたこと (何かあれば自由記述)

--

9.環境問題（どれか一つに☑をつけてください）

(1) 地域社会での取り組みに関心がありますか

☐	ある	☐	ややある	☐	あまりない	☐	ない
--------------------------	----	--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	----

(2) 家庭や個人などの日常生活での取り組みに関心がありますか。

☐	ある	☐	ややある	☐	あまりない	☐	ない
--------------------------	----	--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	----

10.お店でのレジ袋有料化（どれか一つに☑をつけてください）

☐	賛成	☐	やや賛成	☐	やや反対	☐	反対
--------------------------	----	--------------------------	------	--------------------------	------	--------------------------	----

11.マイバッグの使用（どれか一つに☑をつけてください）

☐	積極的	☐	やや積極的	☐	やや消極的	☐	消極的
--------------------------	-----	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-----

12.バイオマスプラスチックを使用したごみ袋（どれか一つに☑をつけてください）

☐	知っている	☐	聞いたことはある	☐	知らなかった
--------------------------	-------	--------------------------	----------	--------------------------	--------

13.バイオマスプラスチックを使用した指定ごみ袋の導入の効果

（どれか一つに☑をつけてください）

(1) 温室効果ガス（CO₂）削減に貢献する

☐	魅力あり	☐	やや魅力あり	☐	あまり魅力なし	☐	魅力なし
--------------------------	------	--------------------------	--------	--------------------------	---------	--------------------------	------

(2) プラスチックごみ問題に関する市民意識が向上する（どれか一つに○）

☐	期待できる	☐	やや期待できる	☐	あまり期待できない	☐	期待できない
--------------------------	-------	--------------------------	---------	--------------------------	-----------	--------------------------	--------

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

用語解説

バイオマスって

化石資源を除く、動植物に由来する有機物である資源のことです。

バイオマスプラスチックとは

原料として植物など再生可能な有機資源を使用するプラスチックです。

バイオマスプラスチックにすると

バイオマスに含まれる炭素分は、その成長過程で大気中の二酸化炭素固定したものであり、バイオマスを再生産する限りにおいては、バイオマスを燃焼しても大気中の二酸化炭素は増加しない特性（カーボンニュートラル）がありますが。可燃物ごみ袋のように焼却せざるを得ないプラスチックには、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの導入が求められています。

温室効果ガス（CO₂）削減効果

市指定ごみ袋にバイオマスプラスチックを導入することにより、次のような効果があります。

（配合率25%） 温室効果ガス 約44,000kg/年 削減

36～40年生のスギの木が1年間に吸収するCO₂に換算すると
約5,000本分の吸収量に相当します。